

# 令和7年度 滋賀県立総合保健専門学校関係者評価懇話会

日時：令和7年11月26日(水) 15:00~16:45

場所：総合保健専門学校会議室

出席者：学校関係者評価懇話会委員8名・事務局6名

## 内容

### 1. あいさつ

### 2. 自己紹介

- ・各施設出席者自己紹介

### 3. 議題

#### (1) 令和7年度 組織目標について(資料1)

質疑応答・意見

#### (2) 令和6年度 学校自己評価結果について(資料2)

#### (3) 令和7年度 学校運営改善の取り組みについて(資料3)

質疑応答・意見

#### (4) その他

①令和8年度入学試験について

②令和7年度オープンキャンパスについて(資料4)

### 4. 意見交換

## 質疑応答・意見

### (1) 令和7年度 組織目標について(資料1)

**委員** 看護学校協議会でも意見交換を行っている。その中で専門学校は軒並み定員割れとなっている、どうすればいいか話し合っているが答えが出ない。試験を早く実施すればいいのか。定員そのものが80で妥当なのかどうか。定員が埋まらないのであれば定員の見直しが必要ではないかとも思う。大学と専門学校の定員数の違いを見た時に、滋賀県は専門学校の定員が多い。他府県に比べてかなり専門学校が多いと思う。これは、県全体で考える必要があると思う。引き続きよろしくお願ひしたい。特に歯科衛生士はこの学校だけなので、もっと受験者が増えてほしい。

**委員** 医師の中には、口腔機能の回復によって社会復帰できた患者さんの例を挙げて、歯科衛生士は魅力的な職業だと言ってくれる先生もいる。歯科衛生士会としても歯科衛生士を育てていきたいと考えている。

### (2) 令和6年度 学校自己評価結果について(資料2)

### (3) 令和7年度 学校運営改善の取り組みについて(資料3)

**委員** 就職活動支援について、看護学科で実施された合同病院説明会の参加病院にアンケートは実施されているか。参加病院の意見を聞かれたほうが良いのではないか。参加させてもらった者として意見をお聞きになってはどうかと感じた。大学の説明会に参加すると必ずアンケートがある。より良い会にするためにも意見を聞かれるとよい。

**委員** 歯科医師会主催の就職説明会への学生参加人数は何名か。

**事務局** 34名中20名程度であったと記憶している。

**委員** ホームカミングデイは年1回か。良い取り組みである。年2回あってもいいのかと思う。

**委員** ホームカミングデイに半信半疑で参加した新採のスタッフが参加してよかったと言っていた。8月はちょうど仕事にも疲れが出てくるころ、その時期に久しぶりに友人と会って情報交換ができたことは良かったと思う。しかしこの時期はまだ業務内容に差がある時期。診療補助業務が中心である人もいれば歯科衛生士業務を行っている人もいて、マイナスの気持ちが働いている人もいたと聞いた。もう少し開催時期を見直してもいいのではと感じた。卒後1年とかでもいいのではと感じた。参加したスタッフが元気いっぱい帰ってきてくれたことは感謝である。

**委員** 参加率はどのくらいだったのか。

**事務局** 歯科衛生学科は数名の欠席で多くの卒業生が戻ってきてくれた。看護学科は2/3 適度であった。

**委員** 勤務時間中であることから参加率に差があったのではないかと。卒後1年目の人が、勤務を抜けてこの会に参加したいと主張できるかどうかは職場の受け皿にもかかっていると思う。看護はフルに働いている職場が多いと思うので、歯科に比べて参加率が低かったのかという印象を持った。

**事務局** 歯科衛生学科でも朝から参加し、午後から仕事に戻る人もいた。卒業生の参加にご理解いただき感謝している。

**委員** 学校評価アンケートに施設設備に対する意見が毎年出ている。学生達も施設を充実させてほしいと考えていると思うが、学校運営改善の取組項目の中に出ていないのはなぜか。県に対し改善についてもっと意見を言うべきかと思う。講師に来ているが、Wi-Fi のない学習環境はいかがなものかを感じる。何年も前から言っているが、大学ではWi-Fi 環境が整っていてそれが普通の環境だと思っていた。さすがにもう整備されてもいいのではないかと。

**事務局** Wi-Fi 環境は以前からの課題である。県にも申し入れていたが、学校の建物自体が壁の厚さの関係でWi-Fi の線を出すことができないと言われている状況。小さいポケットWi-Fi になると許容量の問題で学生が授業で使用するには難しい現状がある。

**委員** 年月も経っているのもう一度県に申し出てもいいのではないかと。当時はそれでもよかったかもしれないが、世間とのギャップがある。おそらく学生も影で言っていると思う。何とかクリアしてもらいたい。

**委員** 看護学科に国家試験対策のツールを導入しているということであったが、それがあっても学校内で使用できないということか。

**委員** 4G や5G なら使用できる。自分の電波を使ってではあるが。

**委員** 使用できてもかなり自分の容量を使うことになると思うと、そこまでして学生が使うかどうか。せっかく導入したのも学内で使用できないのであれば、学びやすい環境かと言われると、どうか。

**委員** 全室でなくても、講義を行うの大きな部屋だけでも付けられないものか。考えていただきたい。予算についてもいろんな課題があると思うが、それに向けた努力をしていただきたい。

**事務局** 医療福祉拠点の応募状況に合わせて本校あり方をどうするかを検討が進められており、大規模な改修が止まっている状況。数十万円の改修でも難しく、LED 化も進められていない。

**委員** 看護協会でも同じ。LED 化はできていない。そのお金を工面しなければならない状況にある。

**事務局** 建物本体のこと、今後の専門学校の内装についても県全体で検討しているところである。その中で改修については、壊れたところを改修しているのが現状である。後ろ向きな改修だけではなく、プラスアルファの部分も予算要求していきたい。

**委員** 滋賀県として、どのように学生を確保するかを考えた時に、ハード面で学校を選ぶ学生も多いのではないかと考える。京都の新しい専門学校の校長と話す機会があった。そこは100人定員に対して昨年度は3~4倍の受験者があったとのこと。今年度さらに改修してよりきれいになるため、受験者数は増えると思うとのことであった。やはりきれいな学校で選ぶ学生も多い。それは病院でも同じ。ハード面の整備がなければ厳しいのではないかと感じる。Wi-Fi についてもしかり。トイレも驚く。この時代に和式で学生はどう感じるのか。選びにくい環境になっている。

**委員** 就職後はタブレットの使用が主流になってきている。AI の活用もしかり。使い慣れてきている人も多い

と思うが、教材に力を入れていただきたい。紙で記録を書くのは学生だけだと感じている。

**委員** 守山高校も校舎が古いが、建て替えは難しい。そこで、学校としてできることを考えた。今年度から考えていることはふるさと納税。教育委員会がふるさと納税の仕組みを作っており、それに乗ってHPを作成しお金をもらえるように考えている。ここで集めたお金は自由に使える。いろんな方法があると思う。また、情報共有できればと思っている

**委員** 寄付金を募るといのはどうか。ちょうど余裕が出てくる年代だ。多くの卒業生を輩出している。

#### (4) その他

①令和8年度入学試験について

②令和7年度オープンキャンパスについて(資料4)

#### 意見交換

**委員** 受験者の応募者数について、自分が学生時代、総合保健専門学校は2から3倍だったと記憶している。現在自分の診療所で、3校の実習を受け入れている。学生に聞いていると、やはり学校の近くに遊ぶところがたくさんあるところを選んでいく傾向にあると感じる。しかし、実習記録や実習態度を見ていると総保専の学生は非常に熱心で教育のレベルが相当高いと感じる。見学の着眼点も違うし、先生方の指導が行き届いていると感じている。ぜひ、高校生の中から歯科衛生士の魅力をわかってもらいたいと思っている。歯科医院には子供や学生の受診が多い。受診者の保護者からこんな職業があるのかと関心を持たれることがある。まだまだ認知されていないと感じる。例えばオープンキャンパスのポスターをいただけるのであれば医院に掲載したい。そういった協力はできる。学生の中にも歯科医院を受診して歯科衛生士を目指すと思ったという学生が多い。ぜひ、歯科医院にポスターを配布してもらいたい。

**委員** オープンキャンパスのやり方ひとつで学生を引き付けることがあると思う。例えば参加したその場で、この学校に入学したいと決めてもらえるような特典などはつけられないか。このオープンキャンパスの売りは何なのか。たとえば、推薦枠にちょっとプラスするとか。

また、講師をしていて途中退学する学生が普通にいるなど感じた。県内就職率が高いのはありがたいが、入学しても途中で退学して、最終就職する人が減っているのではないかと感じる。退学率がどれくらいか気になる。

**事務局** 看護学科のオープンキャンパスでは数年前から学生との交流時間を多く持つようにしている。学生の生の声を聞いてもらえるようにしている。体験ブースも学生が担当している。看護の退学は非常に少ない。年間各学年に1名程度である。

**事務局** 歯科衛生学科も同じくオープンキャンパスは学生との触れ合いの時間を多くとっている。スタンプラリーに学生を配置し、学生に説明させている。参加者が体験できるブースもある。退学者は今年度2年生が数名進路変更のため退学したが、進路に迷う学生には、休学の形をとってまた戻ってもらえるように話している。

**委員** ホームカミングデイの実施で、8月の時期の変更が難しいのであれば、現役3年生との交流を考えてもいいのではないかと。現在受け入れている実習生のモチベーションに差があり、モチベーションが低い学生については心配している。3年生のこの時期はいろいろ悩んでいる学生も多いと思う。先輩衛生士から生の声を聴く場を持つのもいいのではないかと。実習先でも実習生に対していろいろアドバイスしているが、17日間の限られた時間では追い付かない。それならば、卒業生との交流をぜひ検討していただきたい。

**委員** 以前、子供が高校1年生の時に新大阪の歯科衛生士専門学校のオープンキャンパスに参加した。その時、ペーパー試験を受けて、これなら名前を書いただけで合格できると言われた。名前を書いたら合格出る学校であれば定員は満たされると思うが、それには賛成できない。歯科医師会には、やはり基礎がしっかりできている総保の学生が欲しいといわれる先生が多い。教務の先生方には自信をもって頑張ってもらいたい。歯科衛生士会の入会率が低い。歯科衛生士会の研修にも多く参加していただきたい。

以上